

令和3年度(4年産)ビール大麦等生育概況③

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和4年2月4日

(調査基準日2月5日)

【1月下旬～2月上旬(1月20日～2月3日)の気象概況】

宇都宮市の1月20日から2月3日までの平均気温は、平年並みの2.7℃であった。降水量は0mm(平年比0%)と平年より少なく、日照時間は119時間で平年比116%と長かった。

【2月上旬(2月4日)の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールデンの草丈は平年比87%、莖数は平年比87%であり、葉齢は平年より0.2枚少ない。少雨等の影響による葉先枯れも一部発生している。葉色値(SPAD)は平年比91%であった。幼穂長は平年比57%と短かったが、幼穂長は平年比112%で平年より長い。幼穂分化程度は「Ⅶ後期～Ⅷ」の段階であり、平年に比べやや遅れている。

◎気象庁季節予報(2月3日発表) ※毎週木曜日14時30分更新

- ・平均気温は、平年並みまたは低い確率ともに40%
- ・降水量は、多い確率40%
- ・日照時間は、少ない確率40%
- ・平年同様に晴れの日が多い

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 02/05～03/04	40 40 20
		1週目 02/05～02/11	60 30 10
		2週目 02/12～02/18	30 50 20
		3～4週目 02/19～03/04	30 30 40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 02/05～03/04	30 30 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 02/05～03/04	40 30 30

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

※1週目 : 2月5日～2月11日

2週目 : 2月12日～2月18日

3～4週目 : 2月19日～3月4日

【今後の管理】

1) 踏圧（麦踏み）

踏圧を行っていないほ場では、なるべく早く踏圧を行う。

踏圧目安：2.5 葉期以降

踏圧回数：年明け後から茎立期直前までに2~4回実施

踏圧間隔：2週間以上

※茎立期：幼穂長が2cmを超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

踏圧の効果

- | | |
|------------|-----------|
| ・分げつを旺盛にする | ・凍上害を防止する |
| ・根張りをよくする | ・耐寒性を増大する |
| ・生育をそろえる | |

2) 排水対策

今後の1か月予報では、降雨は多い確率40%と予測されているので、まだ明きよを整備していない圃場では速やかに整備を行う。

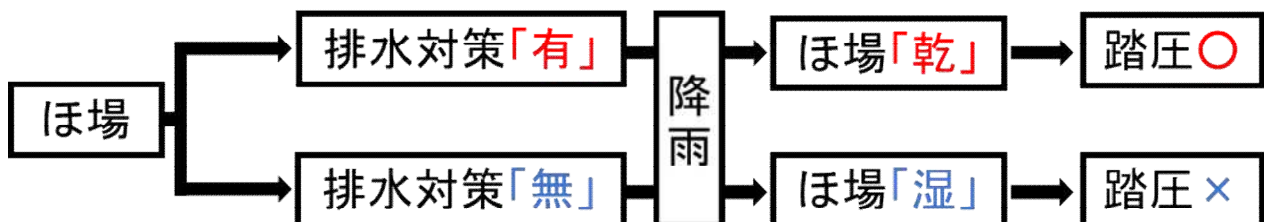
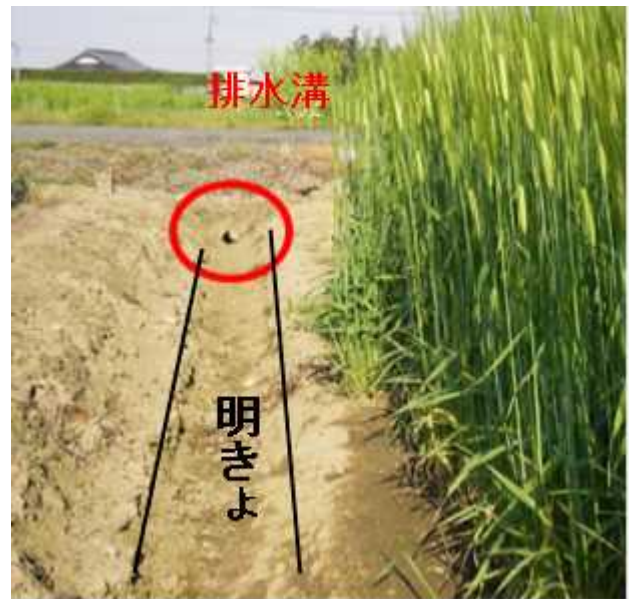
★整備のポイント

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない。
(埋まっていたらさらう)。

このような排水対策の実施により、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、計画的な踏圧が可能となる。

※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる



【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色)
 抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)
 播種期：11月8日(前年11月6日・平年11月6日)
 播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定
 踏圧：12月14日、12月24日、1月6日、1月20日

【調査結果】

表 農試本場(宇都宮市)における生育概況(2月4日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢	葉色 SPAD	正規化 植生指数 NDVI	幼穂長 mm	幼穂 長 mm	幼穂 分化程 度
ニューサチホ ゴールデン	本年	11.2	941	5.5	34.5	0.35	2.3	1.9	5.5
	前年	10.6	1095	6.1	38.8	0.38	2.5	1.7	6.4
	比・差	106%	86%	-0.6	89%	92%	89%	112%	-0.9
	平年	12.8	1078	5.7	37.8	0.45	4.0	1.7	6.3
	比・差	87%	87%	-0.2	91%	77%	57%	112%	-0.8
サチホ ゴールデン (参考)	本年	11.3	935	5.4	34.5	0.35	2.1	2.0	5.5
	前年	9.7	983	5.8	38.8	0.36	2.8	1.4	6.0
	比・差	116%	95%	-0.4	89%	97%	75%	141%	-0.5
	平年	12.4	1035	5.6	38.8	0.46	4.0	1.7	6.4
	比・差	91%	90%	-0.2	89%	75%	52%	115%	-0.9
シュンライ	本年	7.8	705	4.3	37.4	0.31	1.6	1.4	3.9
	前年	6.8	691	4.8	45.1	0.31	1.9	0.8	4.2
	比・差	115%	102%	-0.5	83%	102%	83%	177%	-0.3
さとのそら	本年	11.1	723	5.1	45.3	0.32	1.2	0.5	2.4
	前年	10.7	981	5.5	48.3	0.36	1.9	0.5	2.4
	比・差	104%	74%	-0.4	94%	88%	64%	109%	0.1

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X：10 X以降：11

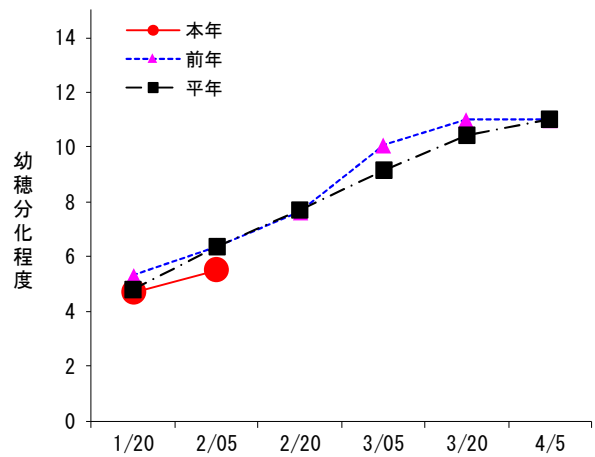
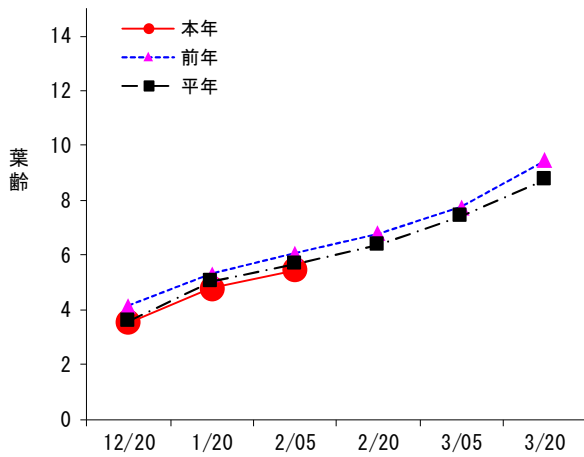
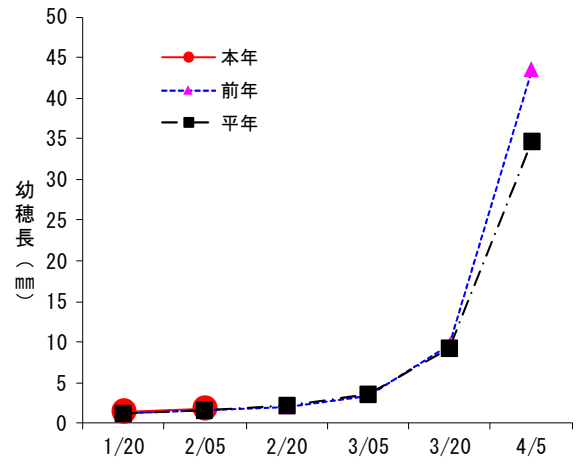
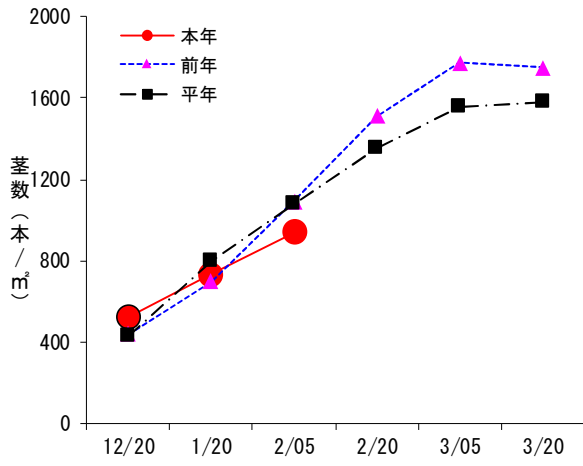
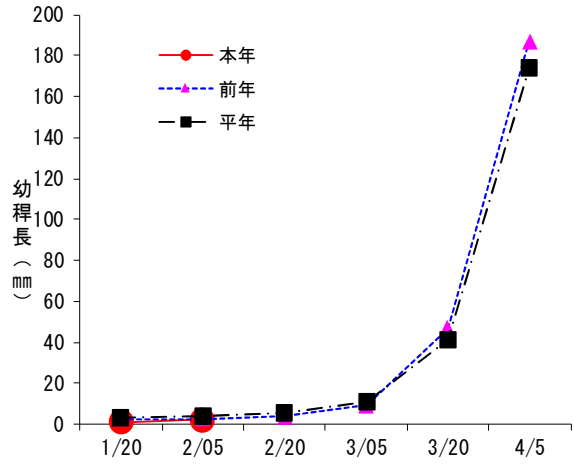
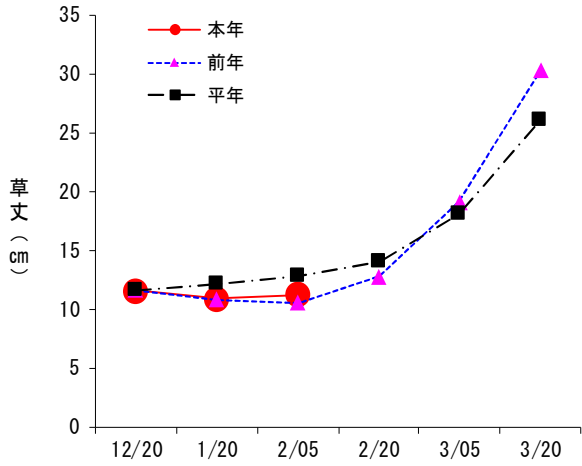
注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値

ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデン：平成25～令和2年度(8年間)

シュンライ、さとのそらは令和元年から調査を開始したため、平年値無し

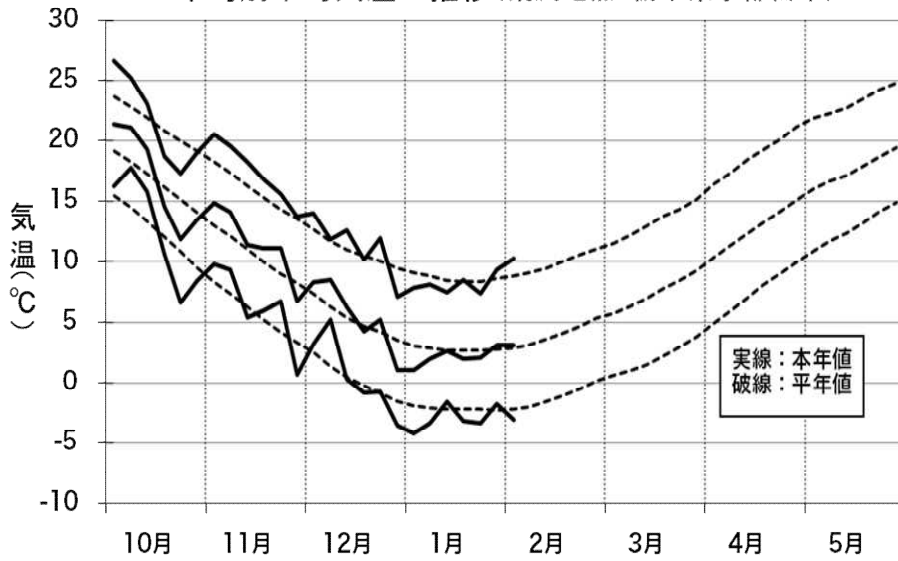
【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



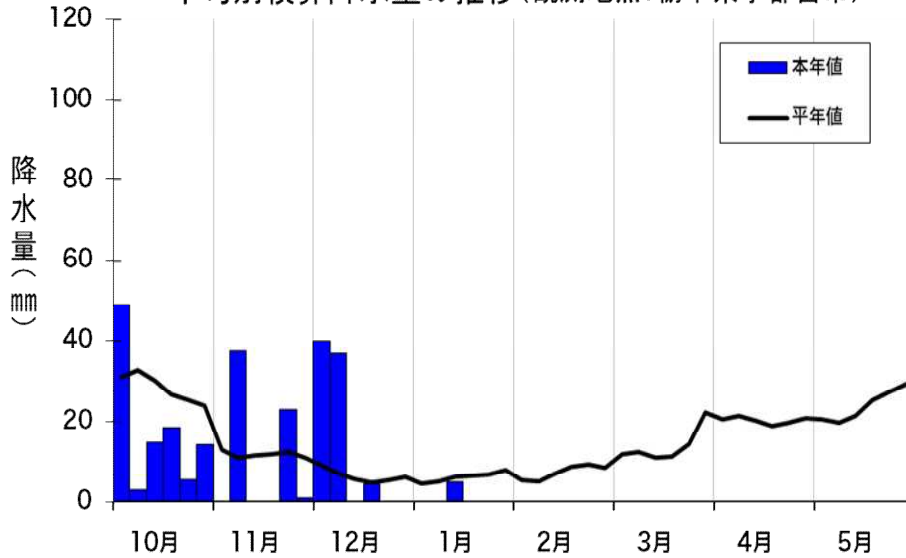
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)

